



私は、今回 8 月 26 日から 9 月 2 日までの 8 日間韓国研修に参加しました。わたしたちが、韓国に行く時期は、日韓関係が悪いと連日のようにニュースなどで報道されておりました。テレビでは、反日運動も実際に起きている映像が流れている状況の中での研修でしたので、とても不安でした。

実際に現地に訪れてみると、デモなどは行われておらず静かでした。韓国の人に話しかけられて、「I am from JAPAN」と答えても特に何事もなく、笑顔で迎えてくれました。テレビで映像が流れている印象とは、全く違うため、やはり、自分の目で見て体験しないとわからないと改めて感じる事が出来ました。

韓国研修の中で、最も印象に残っているのは、6 日目と 7 日目の韓国の大学生との交流です。1 つ目は、建陽大学と東西大学の学生と交流する際、コミュニケーションをとるには、他の国の言語を理解していないと難しいことを改めて感じました。なぜなら、自由行動の日に、両替をしようと一人で出かけましたが、両替する場所を翻訳機で尋ねて説明されても、場所がわからなく、翻訳機での会話に限界を感じた経験をしたからです。

しかし、韓国の大学生は、日本語が上手な学生がいてくれたおかげで、伝えたいことを理解してくれてスムーズに会話が進みました。やはり、言葉が通じないと会話が成り立たなく、コミュニケーションをとるには、限界があると感じました。自分も韓国の学生さんのように、他国の語学を勉強して、上手く話せるようにしてみたいと思いました。

2 つ目は、建陽大学と東西大学の学生と交流した際、韓国の学生さんはとても親切で、様々なおすすめ場所を案内してくれました。食事では、ファーストフード店か韓国料理店か日本食が良いかなど丁寧に聞いて、一緒に食事をしてくれました。わたしたちが食べたい物を一緒に食事してくれるなんて優しい人達だと、その時感じました。買い物では、買いたいものを一緒に探してくれて、とても親切に接してくださいました。

一方、日本と韓国の文化の違いを知ることが出来ました。例えば、日本の食堂では、プラスチックや陶器などのお皿や割り箸が置かれていますが、韓国ではステンレス製の食器や鉄の箸が置かれていました。道路では、日本では、左側通行なのに対し、韓国では、右側通行になっていました。

韓国研修を終えて、言葉の理解の大切さを学び今後、韓国語や英語を勉強したい気持ちが強まりました。語学に対して興味がわいて、他国語を話せるように勉強していきたいと思います。また、異文化の違いを理解すると、わたしたちの国が他国の人から見るとどういった特徴を持った人なのかと考えるきっかけになりました。